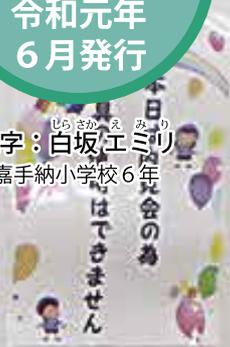


# 議会だより

第168号

令和元年  
6月発行

題字：白坂江ミリ  
嘉手納小学校6年



## 平成31年3月定例会 ～主な内容～

平成31年度当初予算・・・P2~3

平成31年度3月定例会・臨時会・・・P4

嘉手納基地被害に関する要請行動・・・P5~7

町政を問う！15名の議員が一般質問・・・P8

題字紹介・サークル紹介・・・P24

小規模保育光の子幼児学園 第2嘉手納園開園!!

[嘉手納町議会ホームページ](#)

[嘉手納町議会](#)

[検索](#)

町議会を傍聴しましょう！定例会は、3・6・9・12月に開かれます。

# 億9245万円を可決!

## 主な事業をピックアップ!



西浜区コミュニティセンター  
完成イメージ



屋良城跡公園 リニューアル事業



嘉手納野球場 リニューアル事業



水釜第2町営住宅 完成イメージ



高齢者タクシー利用助成事業  
(実証実験)

平成31年第25回(3月)定例会を3月4日から25日までの会期で開いた。  
本定例会では、平成31年度予算(一般会計、水道事業会計、3特別会計)及び、平成30年度補正予算4件を含む議案9件、報告1件、同意3件、陳情1件を可決した。

# 一般会計当初予算 92

平成 31 年度 当初予算 (1万円未満切り捨て)

会 計 名	平成 31 年度	平成 30 年度(当初)	比 較	
一 般 会 計	92 億 9,245 万円	90 億 2,146 万円	2 億 7,099 万円(増)	
特別会計	国民健康保険	19 億 2,479 万円	19 億 8,610 万円	6,131 万円(減)
	下水道事業	2 億 9,659 万円	3 億 6,058 万円	6,399 万円(減)
	後期高齢者医療	2 億 5,598 万円	2 億 5,890 万円	292 万円(減)
水道事業	3 億 4,495 万円	3 億 3,984 万円	511 万円(増)	

## Q & A 予算審議でこんな質問がありました

**問** 平成31年度の町立及び認可園合計での受入者数は、現在何名が待機児童の予定なのか。  
**答** 2月末現在での申し込み者数は522名。入所予定は415名。待機児童は108名だが、例年、幼稚園と保育所両方に申請していて辞退する方が出てくることなどから、今後待機児童の数は減る見込み。

**問** 「嘉手納町と基地」の冊子500部の配布先は、また、いつ頃でき上がるのか。  
**答** 配布先は、行政管理職、議会議員、学校関係施設、行政視察訪問者等へ配布。年度未までに完成予定。

**問** ふるさと納税の収入7800万円計上に対し、3割規定返礼品に問題はないか。  
**答** これまでも3割以内の返礼品で実施しているため、今までもおりで問題はないと考えている。

**問** いじめ問題再調査委員会委員報酬の内容と、委員の人数は。  
**答** 委員会は実際にいじめが発生し、再調査が必要である場合に招集する。委員の数は5人を予定。現在のところ案件はないが、予算は1回分を計上。

**問** コンビニ交付事務導入作業委託料3327万円の内容は、稼働の時期は。  
**答** 今年4月からシステム改修及び稼働チェックを手がけ、本稼働は来年の2月頃を予定。

**問** 本町の自主財源が前年度に比べて0.7%改善になった要因は。  
**答** 町税が1億3千万円余り増額になったのが主な要因。

**問** 国では既に水道事業について民営化の方向にあるが、本町では検討されているか。  
**答** 沖縄県議会や県内10市では民営化については考えていないということで、本町でも民営化については考えていない。

**問** 「嘉手納町の歴史と文化」発行事業委託料の内容は。  
**答** 嘉手納を知り、学び、貢献する子どもを育成するために、本町の身近な歴史辞書の副読本を刊行し、主に中学2年生の学習に活用。

**問** 定住促進事業補助金2301万円の予算計上は何件分か。  
**答** 建物の除去は13戸を予定し、新築住宅棟は戸建ての専用住宅が19戸で、集合住宅・アパートが24戸、合計43戸を予定。

**問** 密集市街地地区(2番地)の整備事業推進委託料の内容と状況は。  
**答** 推進協議会運営等サポート委託料と事業推進の事業計画書の策定料。まちづくり協議会の総会で承認を頂き事業を進める。

**問** 屋良東部地区振興施設の拡充事業は確定しているのか。また、申請に入っていくのか。  
**答** 道の駅かでは実施設計を実施中で平成31年度内に建築確認申請をし、平成32年度に建築本体工事を予定。

**問** 災害廃棄物処理基本計画策定委託料の内容は。  
**答** 新規事業で、平成7年の淡路大震災、平成23年の東日本大震災を受け、災害廃棄物処理体制と処理計画の策定を行う。

## 平成31年 第25回(3月) 定例会主な議案一覧

件名	議決結果
平成31年度沖縄県町村土地開発公社(本社及び支社)の事業計画書及び予算書の報告について	報告
嘉手納町教育委員会の委員の任命について(平得永幸氏)	同意
嘉手納町固定資産評価審査委員会の委員の選任について(松田杏子氏)	同意
嘉手納町副町長の選任について(比嘉孝史氏)	同意



屋良小学校建設工事現場を視察

12月に供用開始の予定。議員からは新校舎について活発な質疑があった。

3月4日に、建設中の屋良小学校校舎建設工事現場の視察を行った。新校舎は地上3階、地下1階で、今年

### 屋良小学校建設工事の進捗状況を視察

本陳情は、長時間労働の解消など医療現場の労働環境の改善を求める内容で、審議では、医療や介護現場での人手不足はいまだに深刻な状況がうかがえ、願意は十分理解できるとして、その趣旨に賛同する旨の意見があった。本会議において委員会審査の報告を行った結果、全会一致で採択するものと決定した。

「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める陳情書」を全会一致で可決

## 平成31年 第24回 臨時会(平成31年2月14日招集)



田中沖縄防衛局長へ要請

嘉手納町議会は、嘉手納基地への飛来を中止すること、県内訓練場使用計画を撤回することを強く要求した。

米軍横田基地に配備されたCV-22オスプレイ4機が、平成31年2月4日午後3時頃、嘉手納基地に飛来し翌朝には移動した。米軍は「定期的な現地訓練に参加するため」としているが、詳細は明らかにされていない。

### CV-22オスプレイの飛来に抗議する意見書・決議

平成31年2月14日、CV-22オスプレイの飛来及び嘉手納基地での訓練激化に抗議する意見書・決議を全会一致で可決し、沖縄防衛局、米軍第18航空団等関係機関へ要請行動を行った。



沖縄県議会議長へ要請

本町議会はすべての外来機飛来中止、騒音防止協定の遵守、騒音の軽減、嘉手納飛行場からの訓練移転期間及び参加規模の拡大を図ることを強く要求した。

嘉手納飛行場では今年1月上旬から2本ある滑走路のうち、北側滑走路が閉鎖され、南側1本で運用されたことで、騒音が軽減するものと期待していたが、外来機が恒常的に飛来し、過密状態のまま訓練が行われており、また、即応訓練も実施され、訓練騒音、サイレン、拡声器放送が昼夜を問わず鳴り響き、町民の受忍限度をはるかに超えている。

### 嘉手納基地における訓練激化に抗議する意見書・決議

# 嘉手納基地被害に関する要請行動を実施!!



総理官邸で取材を受ける要請団一同

左から 照屋唯和男議員、古謝友義議員、當山均議員、志喜屋孝也議員、新垣貴人議員、德里直樹議長、花城勝男議員、宇榮原京一議員

2月27日・28日の日程で議長及び基地対策特別委員7人が上京し、政府関係機関・各政党・県選出国會議員など、19関係機関に対し、嘉手納基地から発生する騒音・悪臭等の被害軽減を求め、下記項目に関する要請行動を実施した。今回の要請は、本町出身の中川京貴県議會議員のご尽力をいただくなど、各方面のご協力のもと実現した。

要請項目は国会予算委員会等において取り上げられ、今回の要請行動は基地被害軽減に向けた第一歩となったが、さらなる基地被害軽減を目指し、今後も政府関係機関等に対し住民の切実な声を届けていきたい。

【大臣要請所感】 10分程度の限られた短い時間であったが、直接基地被害の現状説明と負担軽減の要請ができ、大きな前進と感じた。パラシュート降下訓練や即応訓練等基地の運用状態、排気ガスの悪臭といった基地被害についてもご理解いただけたかと思う。「基地負担軽減に向けて全力を尽くしたい」という言葉に強く期待したい。



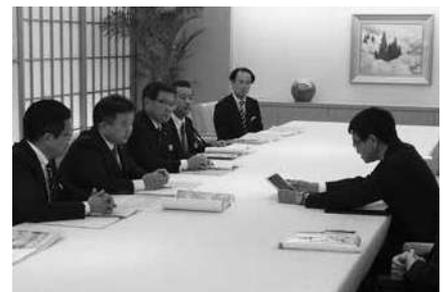
宮腰光寛沖縄及び北方対策担当大臣



菅義偉内閣官房長官



岩屋毅防衛大臣



河野太郎外務大臣

## ●要請項目

- 1 米軍機による悪臭被害への早期対策を講じること
- 2 嘉手納基地の訓練激化について実効性のある防止対策を図ること
- 3 航空機騒音並びに航空機事故、訓練等への徹底した対策を図ること
- 4 第353 特殊作戦群駐機場等拡張整備計画に伴うMC-130特殊作戦機の住宅地側への駐機を実施しないこと
- 5 CV-22 オスプレイの嘉手納基地での運用を中止すること
- 6 嘉手納基地における基地使用協定の締結を推進すること
- 7 嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練を全面中止すること

# 政府関係機関・政党・県選出国會議員等へ要請を行う

## 〔政党要請所感〕

各政党とも幹事長や最高顧問等党のトップをはじめとした党役員が対応し、さらには国会内委員会にて要請事項が取り上げられた。

## 〔県選出国會議員要請所感〕

動画とパネルの説明により、基地被害の現状を改めて認識していた。

要請に際し、県選出国會議員の皆様には、政党要請の橋渡しや待機場所の提供など、協力をいただいた。



自由民主党



公明党



希望の党



社会民主党（照屋寛徳議員）



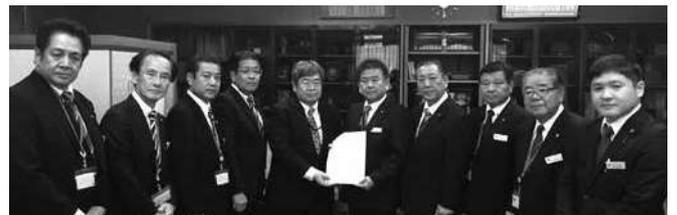
立憲民主党



日本維新の会（下地幹郎議員）



共産党（赤嶺政賢議員）



高橋憲一防衛省事務次官



儀間光男議員



糸数慶子議員



今井絵理子議員



西銘恒三郎議員



宮崎政久議員



伊波洋一議員



国場幸之助議員



西銘恒三郎議員

# 嘉手納基地対策に関する要請行動報告会を開催!



花城勝男議員



知念隆副議長



徳里直樹議長



當山均委員長



新垣貴人議員



志喜屋孝也議員



古謝友義議員



照屋唯和男議員

去る4月15日、中央公民館大ホールにて「嘉手納基地対策に関する要請行動報告会」を開催した。

要請状況の報告や、要請に用いた映像やパネル資料の説明、要請を実施しての所管報告を行った後、参加者からの質疑に回答した。



要請資料の説明を行う宇榮原京一副委員長



報告会では映像を用いて説明を行った



参加者からの質問に回答する徳里直樹議長



報告会へは要請行動に同行していない議員も参加した

報告会終了後のアンケートでは「パネルや映像を作成しての要請は良い試みであったと思う」「同様な要請行動は今後も続けて欲しい」「わかりやすい報告会だった」「実際に被害が軽減される見通しはあるのか」などといった意見や提言があった。

今後とも嘉手納町議会  
は基地負担軽減のための  
行動を推進していく。



報告会での質疑の様子

# 町政を問う

題字：新垣 貴人 議員

安森盛雄 .....	P 9
郷友会または旧字等の財産管理を問う	
古謝友義 .....	P 10
地域福祉交通実証実験を問う	
照屋唯和男 .....	P 11
町の観光推進体制は	
田仲康榮 .....	P 12
町政に施策課題の反映を	
花城勝男 .....	P 13
地域福祉交通導入を問う	
仲村 一 .....	P 14
久得霊園駐車場の階段に手すりの設置を	
志喜屋孝也 .....	P 15
新町通り入口アーチ看板を問う	
新垣貴人 .....	P 16
保育所整備計画を問う	
知念 隆 .....	P 17
福祉交通の実証実験と事業内容の課題は	
奥間政秀 .....	P 18
かでの民話の活用を図れ	
仲村渠兼榮 .....	P 19
嘉手納野球場の方針は	
宇榮原京一 .....	P 20
ごみ減量化の取り組みを問う	
當山 均 .....	P 21
中学校テニスコートの早期整備を	
田崎博美 .....	P 22
比謝川を蘇生させる作戦を問う	
德里直樹 .....	P 23
広域行政への取り組みは	

15人の議員が一般質問

(質問順)

町に考えを聞く!! 一般質問

(安森盛雄)



安森 盛雄

## 郷友会または旧字等の

### 財産管理を問う

**問** 地方自治法に規定されている団体を把握しているか。

**答** 一般に認可地縁団体と呼ばれていると認識している。

**問** 認可申請できる地縁による団体とはどのような団体か。

**答** 地域の自治会や町内外、共同で使用する施設等を所有するコミュニティなどが申請を行っている。

**問** 認可の要件は。

**答** 区域に住所を有する全ての個人が構成員となることができ、相当数の物が現に構成員となっていること、また目的、名称、区域、事務所の所在地及び構成員の資格、代表者、会議、資産に関する事項を定めていることが要件である。

**問** 認可申請の手続きは。

**答** 不動産に関する権利等を現に

保有していることが前提となり、認可申請の決議を総会で行った上で、規約、総会の議事録の写し、構成員の名簿、保有財産の目録、事業活動の状況がわかる資料等の提出。それを町が審査し、要件を満たしていることを確認できれば町長から団体代表者へ認可の通知を行う。

## 人工内耳機器の修理・更新

### 費用等に関する支援策は

**問** 人工内耳機器の更新・修理費用に係る医療保険制度の適用ができないか。さらに補装具への適用についても、町の支援ができないか。

**答** 医療保険、または補装具への位置づけが望ましいことから、国の動向に注視している。

**問** 平成30年9月定例会で調査研究していくとの答弁があったがどのような研究をしてきたか。

**答** 他市町村における給付状況の確認を行った。現在県内においては、助成事業を行っている市町村はない。今後も引き続き、調査研究を行いながら、慎重に検討していく必要がある前向きに考えていきたい。

## 新町通りの看板と

### 交通状況を問う

**問** 新町通り名称のアーケード看板設置について進捗を伺う。

**答** 地下埋設物を避けたアーケード看板の設置可能な位置が確認できたので、今後は形状など関係者の意見を聞き、各種補助金などの活用も鑑みながら設置に向けて進めていきたい。

**問** 琉球銀行前の出入口付近の交通混雑について調査実施の進捗は。

**答** 銀行前交差点部分の車道幅を拡幅し、車両の出入りを通過しやすいように改良していく。今後は、停止線の位置の変更や交通標識、照明灯の設置箇所の変更など、警察機関や電力会社などの交差点協議を行う予定。



交通混雑・アーケードの調査結果について

## 町民サービスの

### さらなる充実を

**問** 當山町長の三期目に向けた施策を推進していく中で、職員の人材育成を含めた取り組みは。また、住民サービスはどのような強化していくのか。

**答** 来庁された町民の皆様と窓口等に対応する際には、適切な接客態度で対応することはもちろん、それぞれが担当する業務内容を把握し、その根拠となる法律や制度をしっかりと理解することで、皆様からの問い合わせへの適切な回答や適正な事業実施が可能となると考える。時には、来庁した町民の皆様の意に沿わない回答をせざるを得ない場合もあり、その際、相談された方には不快に思われることもあろうかと思う。そのような場合でも丁寧な説明を行うよう指導していきたいと考える。今後も、人事評価制度などを活用した職場内での取り組みや各研修などの実施、受講を通して人材育成、住民サービス強化に取り組みたい。



古謝 友義

### 地域福祉交通

#### 実証実験を問う

- 問** 対象者（7項目すべてに該当する方）は何名か。
- 答** 明確な数値は把握していない。
- 問** タクシー利用助成券の申し込み方法はどのように行うのか。
- 答** 役場窓口にて申請する。
- 問** 受け取り方法は。
- 答** タクシー利用助成券交付の決定通知書を送付し、役場窓口にて受け取る。
- 問** 実証実験で満足のいく結果が出たら補正予算を組んで継続するのか。
- 答** 期間の延長は考えていない。
- 問** 何%台で成功とみているのか。
- 答** 数値目標を設定していない。
- 問** 結果次第で次年度以降は取りやめるのか。
- 答** 取りやめることは考えていない。
- 問** 月2回の利用しかできないが、

- 十分だと思うか。
- 答** アンケート調査の結果、月4枚に決定した。
- 問** 契約するタクシー会社は何社を予定しているか。
- 答** 町内の事業所1社を検討している。

#### 配水池増設を問う

- 問** 配水池増設の進捗状況は。
- 答** 配水池築造実施設計を予定している。
- 問** 新たな配水池の規模は（大きさ、容量等）既存と比較して同等か。
- 答** 高さが4m低く、容量は1100m<sup>3</sup>減少する。
- 問** 増設することによって、何日分が貯蔵できるのか。
- 答** 最大、十日間貯蔵が可能。



久得貯水タンク

- 問** 配水池増設の場所はどこを予定しているか。既存の配水池と離れているか。
- 答** 既存の配水池に隣接。
- 問** 災害時のリスク分散は考慮されているか。
- 答** 耐震化を優先する。
- 問** 既存の配水池の耐震補強は済んでいるか。
- 答** 配水池を築造後に、既存の配水池の耐震補強を行う。

### 水釜・大木線の交差点を改良せよ

- 問** 町道67号線を漁港まで拡幅工事はできないか。
- 答** 検討したが、実施には至っていない。
- 問** 水釜・大木線の漁港への右折帯の改良工事はできないか。
- 答** 今後調査研究を行っていきたい。
- 問** 町道48号線と交差する水釜・大木線の赤信号停止線を後退できないか。
- 答** 嘉手納警察署と協議していきたい。
- 問** イユミーバンタ通りは夕方には水釜・大木線に抜けるのに社協まで渋滞している。苦情はないか。

- いか。
- 答** 地域住民からの苦情はない。
- 問** 2か所の交差点に監視カメラの設置はできないか。
- 答** 不特定多数の人や周辺家屋などが撮影されるため、肖像権やプライバシー等問題があり設置は厳しい。



水釜・大木線と町道48号線の交差点



照屋 唯和男

## 町の観光推進体制は

**問** 観光協会設立に向けての現状、目的は。必要性をどう見ているか。

**答** 観光推進する組織がないため、観光施策やプロジェクトを推進しにくい状況である。観光客を呼び込むことで地域経済の活性化を図ることが目的が必要。

**問** 町の観光資源はイベントを含めどうとらえているか。

**答** 数多くの観光資源があると考えている。集客は多種多様なイベント、どのイベントを観光資源として活用していくか今後議論を進める。

**問** 人をより多く集める仕掛けは。滞在型へつなげる方法を考えていけるか。

**答** 観光の目的地となるハード面、ソフト面から受け入れ体制の強化を図っていく必要。また、情

報発信に対する取り組みも重要。**問** 町民の声はどう上がっているか。意見の集約は。

**答** 観光協会設立を推進するべきという意見がほとんど。

**問** これまでの調査研究から平和学習、体験、宿泊などをクリアできそうか。

**答** 教育旅行民泊で修学旅行等の受け入れ検証、ニーズ調査を兼ねて、先進地の民泊の取り組みについて講演会を実施する。



町の観光スポット 道の駅展望台

## 子育て世代のための

### 定住促進事業を

**問** 民間による住宅不足の改善が

若い世代や子育て世代等の定住化を図る目的に合致しているか、何に困っているのか、単純に住むところがないだけではなく、居住したくても新築に近いアパートでは家賃が高く、収入と折りが合わないことで町外に流れていくのでは。子育て世代の若者へ町に定住するために支援してもらいたい、調査して、定住できる仕組みを構築していい

**答** 平成27年度に嘉手納町住環境整備基礎調査業務を実施。実効性、効果、優先度を鑑み、まずは受け皿となる居住する住宅建築の支援が必要と判断。定住支援事業については、住生活の課題と考えており、子育て世代や若年層の住宅ニーズを的確に捉え、支援の強化が今後必要と考えている。家賃等いろいろ情報を得たが、特に嘉手納町が突出して高いという認識はない。

**問** 子育ての定住促進事業の流れから、基地騒音問題、排気ガス問題等環境がよくない状況に住みづらいところも出てきていると、それと見合っても嘉手納町が断然良いとアピールしないといけないが、町長の見解は。

**答** 騒音問題、悪臭問題、ついてマスコミで取り上げられており、かなり衝撃的な内容ということへの関連だと思ふ。

実態を把握し、それをもとに改善を強く求めていくこともまた必要でこういったことを根拠にししながら、基地被害の除去に向けての取り組みをしていく以外ない。そのことが嘉手納町のまちづくりにもつながっていく、マイナスイメージを払拭する形に持っていく。

## 猫登録制度の制定を

**問** 犬は登録もしっかりされ、義務づけがされているが、猫に対しての管理状況が見えない。野良猫と飼い猫の区別もつかないので、猫の登録制度の制定を行い、管理できる仕組みを。

**答** 飼い猫は登録の義務がない。動物愛護法により捕獲、保護ができない現在、登録制度の検討は行っていない。

新年度に野犬捕獲委託業者へ猫の飼い方指導や猫の嫌がる超音波を発するガーデンバリアの貸し出しも含めた委託契約を行う予定。



田仲 康榮

町政に施策課題の反映を。

問 安倍政権によるくらし、医療、福祉への攻撃、地方自治、民主主義破壊など国民生活破壊が続くなかで、地方自治、民主主義擁護、町民のくらし、医療、福祉を守る事は重要で身近な課題だ。次の諸項目を町政に生かしてほしい。

消費増税反対県民投票の尊重を。

消費増税10%増税に反対し憲法9条よう護、辺野古新基地反対、県民投票を尊重し、基地のない平和で豊かな沖縄、嘉手納町を指しては。

答 消費増税は予定通り実施されるものと想定し対応したい。公共料金への転嫁は財政への影響も勘案し、検討したい。憲法改正は国民に納得のいく理由を明らかにし十分な議論をすべき。移

設反対の県民投票の民意は尊重されてしかるべきだ。基地問題の解決に向け平和な街の実現を目指していく。

問 F-35Aの配備反対、町民大会を。

嘉手納基地の機能強化反対、日米地位協定の抜本改定、嘉手納基地の閉鎖、撤去、降下訓練の日米合意の厳守、F-35A戦闘機の配備反対、町民大会の開催を。

答 基地機能の強化や外来機の飛来、訓練等は反対の姿勢で臨む。



墜落事故をおこした同型機のF-35A戦闘機 (嘉手納上空)

日米地位協定は、軍転協で日米関係機関に抜本的改定を求める。降下訓練に対しSACO合意の厳守と訓練の中止を求める。F-35戦闘機等外来機の飛来、訓練は今後とも反対の姿勢で臨む。

排ガス等悪臭の人体への調査を国に求めていく。町民大会の開催は必要性を含め色々な観点から考慮が必要。

問 返済のいらぬ「給付型奨学金」の創設を。

子どもの貧困対策の前進・強化をはかるため①医療費無料化を高校卒業(18歳)まで拡大し、②返済のいらぬ「給付型奨学金」制度の創設を。

答 ①高校まで実施の町村もあるが、限りある予算の中で現行の事業を継続・実施・保証することが最良と認識。

②現在実施の学資貸与との兼ね合いも勘案し、給付の基準、条件も審議するなど十分な検討が必要となる。

問 待機児童の解消、若者住宅の建設を。

若者向け低家賃の公共住宅の建設、待機児童の解消、一般会計からの繰り入れで国保税の軽減策、介護保険の軽減等で医療・

福祉の充実をはかれ。

答 子育て世帯の定住促進支援については既存の公営住宅の活用仕方、若者世帯への優先順位入居の仕方、制度見直し、制度内容も確認し、認可保育所の整備等で取り組みたい。国保税の繰り入れは県及び市町村の動向を注視し検討したい。

葬斎場の正面階段にスロープを。

問 正面階段の一部をスロープ式に改善し、高齢者や障がい者にやさしい葬斎場にすべきだと考える。足腰の弱い人、関節に障がいのある町民にとって切実な願いだ。

答 スロープ設置の際、県福祉まちづくり条例、国の基準、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化促進に関する法律で勾配を12分の以下で10m必要となり、現況だと葬儀に支障を来す恐れがある。



花城 勝男

## 地域福祉交通導入を問う

**問** 福祉交通導入75歳以上の年齢範囲を全世代の検討は。

**答** 本町では高齢者75歳以上の考えである。今年75歳以上でタクシー4人乗り合い実証実験をし、結果を踏まえて、年齢枠の範囲を検証するか考える。

**問** デマンド福祉交通の10人乗りワゴン車を運行し、全世代交通弱者を対象に、乗り合いタクシー方式型による、町内300円や町外500円での送迎サービスを提案。

**答** デマンド福祉交通も、ドア・ツー・ドアで利用回数の制限もなく、交通弱者対策の一つとして、他の自治体でも導入している。しかし地域福祉交通は、高齢者の方が利用しやすいものを第一に考え、4人乗りタクシー利用助成事業を実証実験する予定。

**問** 福祉交通導入の実証実験から運行開始までの日程は。

**答** 今年の7月～10月に実証実験を10月～11月にアンケート調査を実施し、12月以降、集計分析を行い、見直し案や本格導入に向けた検討を行い、2020年の4月より本格運行予定。



福祉交通タクシー実証実験

## 観光協会(仮称)設立を問う

**問** 本町ではDMO型観光協会の設立が必要とあるが、その内容は。従来の観光協会と何が違うのか。

**答** DMOとは、地域の稼ぐ力を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する観光地経営の視点にたった観光地づくりの舵取り役を担う。多様な関係者と協同し、コンセプトに基づいた観光地づくりの戦略を策定し、戦略を実施するための調整機能を備えた法人を指す。従来の観光

協会は、観光行政を補完する形が中心で意思決定が遅れる点がデメリット。DMOでは、地域が丸となった組織体として幅広い分野の各種団体をマネジメントする機能が求められる。

**問** 観光協会の法人形態は合同会社、NPO法人か、一般社団法人か。

**答** 合同会社は営利の追求型の法人であり、NPO法人は活動に制限がある。現在の所、非営利でありながら、活動に制限がない一般社団法人が望ましいと考えている。

**問** 観光協会運営事務局の人材は公募型か、専門人材招聘型か、地域育成型か。また人数体制は。

**答** 地域育成型と公募型の同時並行募集。県内より観光事業経験者やスキルのある方を募集し、必要があれば県外へも募集の枠を広げる。事務局長1人、事業担当者1人、経理担当者1人の計3人を予定。

**問** 民泊事業の立ち上げ予定は。

**答** 教育民泊で、修学旅行等の受け入れを検証。そのニーズ調査を兼ねて、先進地の今帰仁村の民泊の取り組みについての講演会を実施。

**問** 観光協会の設立日程は。

**答** 平成31年中に観光協会設立準備室の設置、準備会立ち上げを予定。法人形態、規約、定款、組織体制、活動方針、事業計画、収支計画等の検討を進め、平成31年度中の設立を予定。



観光地として注目の比謝川下流

## 老人福祉おむつ助成事業を問う

**問** 65歳以上の寝たきりや認知症で6か月以上おむつ使用者に対し、月額1万円を助成しているが、認知症の年齢制限を撤廃しては。

**答** 現在、老人福祉助成事業の対象は65歳以上であり、若年性認知症の方は対象外。認知症の年齢制限の撤廃については今後、他の市町村の対象要件等を調査研究し、検討したい。



仲村 一

久得霊園駐車場の階段に  
手すりの設置を



久得霊園北側の階段

**問** 平成30年6月の定例会において久得霊園駐車場北側の階段に手すりの設置を提言した。南区の行政懇談会でもご婦人の方から同様の要望があった。今年度予算に組み込んでいるがシーミーも4月から本格的に始まる。駐車場の白線・矢印も見えなくなっているがそれも含まれているのか。  
**答** 葬斎場・霊園駐車場の矢印及び白線の引き直しも計上している。

**問** 予算採決後、設置はいつごろを予定しているのか。  
**答** 階段2か所への手すりの設置は新年度に入り次第できる限り早めの対応を考えている。

簡易救助器具の設置を

**問** 平成30年6月の定例会において比謝川沿いの堤防に設置されている簡易救助器具がすべてなくなっていると提言を行ったが、その後の対応は。  
**答** 翌月10か所に再設置したが、同年9月の台風24号の接近に伴い一時回収し、通過後設置する予定であったが、これまで設置していたかごは鉄製で高波や塩害での損傷・腐食が早く維持管理に不都合が多いため、福祉センター1階に設置されている救命箱と同様なものを歩道内に歩行者に支障にならないように3か所程度に絞って設置が可能か調査検討中。

Uパック式のごみ袋の導入を

**問** 平成29年12月定例会において、Uパック式のごみ袋の導入を提言した。平成30年度調査研究し平成31年度に導入したいとのことだが、今後の予定は。

**答** 平成30年11月にU字型ごみ袋導入モニターを行った。すべてをU字型に、一部をU字型にとを合わせると9割の方が希望しているとの結果であった。U字型ごみ袋の導入を平成31年10月頃を目途に考え現在、その準備を図っている。

**問** 前回の答弁では仕入価格が若干上がるのとのことであったが変更はないか。  
**答** U字型にするには面積は増えるが、現在の材質とは多少変わるため、現在の仕入価格と同等、もしくは若干下がるのではないかと想定している。

**問** 現在、大は300円、特大は600円だが価格は変動しないのか。  
**答** 料金設定に関しては変更する予定はない。

**問** 前回、Uパック式のごみ袋を製造している会社が1か所しかないとの答弁であったが、仕入れができないという事態にならないか。  
**答** 今年度、何かU字型のごみ袋を製造している会社は何社かあることが分かったので、対応できる会社の中から選定していきたい。

県道74号線に横断歩道を

**問** 平成29年9月定例会において県道74号線嘉手納ドーム入口に横断歩道の設置を提言した。その時の答弁で嘉手納署と調整を行っているとの事であったが、その後の進捗状況は。  
**答** 嘉手納警察署に高校の関係者地域から要望の声があるとの事で再協議を行ってきた。

沖縄市方面から通学する利用者はほとんどが屋良千貫田バス停を利用しており、嘉手納運動公園入口前のバス停利用者が多くないことや、道の駅付近には横断歩道が設置されており現時点では必要性がないとのことであった。

県道であるので中部土木事務所が道路担当者会議でも定義してきたが公安委員会の見解もあることから合意に至っていない。  
**問** その後、嘉手納高校、地域から要望はあったか。  
**答** 嘉手納高校の先生方から書面で要望書を頂いた。

引き続き必要性を調査し、地域からの要望もあるということ協賛していきたい。



志喜屋 孝也

新町通り入口

アーチ看板を問う

**問** 看板の基礎、地下の確認は。  
**答** 都市建設課の調査により、地下埋設物を避けたアーチ看板の設置可能、設置に向けて検討を進める。

**問** デザインの状況は。また、地域と目的に応じたデザイン、高さ、大きさ、長さ、照明、建物とのバランス、色合い、文字の種類、夜間の照明等は。  
**答** 関係者を交えて検討する。

**問** 電光掲示板の予定は。縦、横のアーチ型電光掲示板はイベントの告知、行政のお知らせ、また、色を変えて季節感の演出ができるので検討してほしい。  
**答** 維持管理が難しく予定なし。

**問** 設置時期の予定は。  
**答** 補助金を活用し、慎重に看板

設置を実施していく。



アーチ看板の設置を

防犯カメラの現状を問う

**問** 行政が設置した防犯カメラの設置場所の数は。  
**答** 25施設に125台、平成29年度に8台。合計131台。

**問** 犯罪の抑止力になっているのか。設置前と設置後の犯罪件数は。  
**答** 施設内の犯罪件数は確認されていない。

**問** カメラ本体、機器、その他の定期的な点検はどのようにしているのか。  
**答** カメラ本体、機器、その他の定期的な点検はどのようにしているのか。

**問** 機器の性質上、定期点検は必要としない。日常の映像確認や異常通知ランプ等で確認。  
**問** 行政が画像の点検を行っているのか。  
**答** 日常的に映像の確認は行っていない。警察からの要請があった場合と必要な場合のみ、専用の端末で映像を取り出す。

**問** 警察からの画像の提供の要請はあるのか。  
**答** 平成30年度、水釜街区公園1件、ロータリー広場3件、新町通りで6件、港通りで2件、合計12件。

火災報知機の設置状況は

**問** 公共施設の設置状況は。  
**答** 行政施設や学校、不特定多数の利用する店舗、事務所、劇場等は消防法により、届け出のため公共施設については、すべて設置。

**問** 一般家庭の設置状況は。  
**答** 一般家庭も義務づけられており、平成29年度時点では49・33%。

**問** 北谷町は65・58%読谷村は43・61%。嘉手納との比較は。  
**答** 他の市町村がどの程度なのか

把握していない。

**問** 要支援者宅の設置状況は。

**答** 要支援者宅を特定しての調査は行っていない。

**問** 火災報知機の一般家庭の補助は。

**答** 高齢者の日常生活用具給付事業があり、火災報知機も助成事業、高齢者が対象。

**問** 設置後の公共施設の保守点検は。また一般家庭の点検は。火災報知機には、煙式、熱式等があり主にキッチンが料理に煙が出るので熱式を採用している。その他は感知が早い煙式の採用が多いとのことである。

**答** 公共施設は法定点検を設置業者によって定期的に実施。一般家庭は設置者自身で点検。通常10年で取り換えが必要。



火災報知器の設置促進を



新垣 貴人

保育所整備計画を問う

問 町内の町立2園は建設から長い年月が経ち、老朽化が見受けられる現状だ。そろそろ保育所の建て替えを検討する時期にきている。

答 嘉手納地区、屋良地区には児童館が設置されているが西浜区域には児童館がない。西浜区域でも子ども達の憩う場所、そこで集い、遊び、学べる良好な環境の構築が求められているが、保育所整備計画の事業内容は、老朽化した第三保育所建替建設場所の選定や規模の決定を行う。

問 西浜地区への児童館の設置を要望してきた。第三保育所建て替えの際に、児童館などを含む複合施設の計画ができないか。

答 嘉手納小、中学校の3割が西浜区民。安心して安全な施設を均

等に配置することが理想的な環境と考える。児童館建設の調査研究を行いたい。



嘉手納小学校近くの嘉手納児童館

一括交付金の活用状況は

問 沖縄振興特別措置法に基づき、沖縄の実情に即した事業を実施できる一括交付金は、本年度8年目を迎えるが、今年度と次年度の事業の状況は。平成30

年度における概算の予算決算額と執行率は。

答 予算額は、2億4千6百万円。決算額は、1億7千6百万円。執行率は、71%。

問 平成31年度の主要事業は。

答 道の駅かでの機能拡充事業と比謝川緑地広場整備事業の2件。2021年に事業完了の計画。

交通安全対策を問う

問 社会の生活では、車を運転するドライバーも自転車も歩行者も交通ルールを守ることと安全と秩序が保たれている。

答 事故を未然に防ぐため、町道の管理者は、交通安全対策への責務があるが、その対策を伺う。池原内科前の町道へ、侵入道路に停止線や注意喚起を促す看板の設置は。

問 停止線を再度塗り直し、看板を設置する方向で対応する。

問 水釜埋立て2号線にハンプの設置は。

答 この道路沿いには、保育園があるが、付近に横断歩道がない。スピードを出す車への交通安全対策でハンプを設置予定。

問 旧水釜交番横の停車帯に車が2台以上停車すると、通行と安全確認に支障がある。停止線の改善は。

答 嘉手納警察署と協議し、解決策を見出したい。



朝夕は交通量の多い水釜の町道埋立2号線



知念 隆

## 福祉交通の実証実験と 事業内容の課題は

**問** 平成31年度より福祉交通の手段としてタクシー利用助成事業が行われるが、対象者の要件と対象者数は。

**答** 75歳以上の一人暮らし高齢者、または高齢者のみの世帯、市町村民税が非課税の者、生活保護を受給していない者となっている。

**問** 利用券を使用する場合の本人確認はどうするか。

**答** 登録証を交付し、利用券を使用する場合は登録証を提示していただく。

**問** 生活保護を対象外にした理由は何か。

**答** タクシー利用券が収入として認定される可能性があるため。  
**問** タクシー会社との連携と清算はどうなるか。

**答** タクシー会社への支払いは利用券と合わせて請求書を提出していただく予定。

**問** 事業を実施するに当たり、先進地の事例も参考にしたか。

**答** 中城村の護佐丸バスとデマンドタクシー、宮古島市においては高齢者支援タクシー利用助成の視察を行ない、また県外の事例についても検証し、本町に合ったタクシー利用助成事業として実証実験を決定した。



福祉交通の充実を

## マイナンバーカードの 発行状況は

**問** 平成31年度よりマイナンバーカードを利用してコンビニでも戸籍、住民票等が交付できる事業が始まる。これからさらにマ

イナンバーカードを活用する機会が増えることが予想されるが、現在のマイナンバーカードの発行枚数と発行率は。

**答** 平成31年2月末時点での交付件数は862件、発行率は6.3%。

**問** 発行枚数を増加させるための取り組みは。

**答** 現在、窓口において公的な身分証を必要とする方へ申請案内や補助を行っている。今後はコンビニ交付導入の時期に合わせて広報等を活用しながら交付促進の周知を行う。

**問** 役場庁舎内にマイナンバーカードにも利用できる写真撮影機の設置ができないか。

**答** マイナンバーカードの申請には郵送による方法とスマホやパソコンによる方法がある。現在、多くの方がスマホを所有しており、手軽に利用している。写真撮影機の設置については現在、考えていない。

## 嘉手納基地駐機場の移転 を求める町民大会の開催を

**問** 本町の基地対策特別委員会が去る2月に政府機関や県選出国會議員や各政党に対し、基地問

題の解決に向けた要請を行ない大きな波紋を起こすことができず。そこで駐機場移転に主眼をおいた町民大会を開催し、駐機場移転のさらなる波をおこしてはどうか。

**答** 既存施設の移転等係る事案の解決に向けては米軍側の協力を求める必要がある。町民大会が問題の解決につながるか十分検討する必要がある。

**問** 町長として問題解決に向け、政府機関に対し、要請行動を実施する考えはないか。

**答** 現状の把握を行い、その状況を踏まえて、第18航空団司令官や日米の関係機関に対し、騒音被害を解消するための有効な対策を強く求めていく。



町民大会の開催を



奥間 政秀

かでの民話の活用を図れ

問 「かでの民話」はFMニライでの放送や、広報かでのへの掲載などにより多くの町民から喜ばれているが、今後、第2刊・第3刊の発刊予定はあるか。

答 現在、第2刊、第3刊の発刊予定はないが、成果の活用のため、かでの民話をもとに紙芝居をこれまで2部作成している。平成30年度中に3部目が完成予定。31年度に印刷製本し、各学校及び図書館へ貸し出し用として配置を予定。

問 「しまくとうば継承」の方法の一つとして、かでの民話の中から小中学生向けのわかりやすい副読本を作成し、児童生徒に配布してはどうか。

答 副読本の作成、配布は、現在のところ考えていない。

問 多くの児童生徒がしまくとうば大会へ参加できるよう、かでの民話の中から題材を設け、文化協会・学校・教育委員会の連携ができないか。

答 本大会の主催運営に当たる文化協会に伝え、必要に応じて連携、調整を図りたい。

官民連携で

住民サービスの向上を図れ

問 公共施設などの建設や運営などに民間企業の資金や経営能力、技術力を使って指定管理制度、公設民営方式、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシング等、官民連携のさまざまな形態があるが、官民連携の促進により職員の業務を削減させ、さらに住民サービスの向上、職員の資質向上に取り組めないか。健康増進センターの状況は。

答 健康増進センターは、平成20年5月供用開始し、平成23年度から指定管理者制度が導入されている。指定管理者制度を導入してからは、運営には全て指定管理者で行っており、指定管理者による実施事業である子ども水泳教室やアクアエクササイ

ズ教室は好評を得ており、町民の多様なニーズに応え、町民サービスの向上に寄与しているものと考えている。

問 学校給食共同調理場の状況は。

答 学校給食共同調理場は、平成28年度から民間委託へ移行しており、平成29年度からは新調理場での調理、配送業務を開始し、委託業者が1日14名体制で調理、配送業務を行い、安全、安心な給食を提供している。



さらなる住民サービス向上へ

問 役場窓口業務を民間に委託しては。

答 窓口業務を含む、さまざまな業務の民間委託は職員の業務量の軽減や業務の質の向上、場合によってはコスト削減等が見込まれ、業務の効率化を図る方策として有効な手段と考えている。本町においても自治体の事例研究を行っているが実施については、各課窓口業務の整理、委託した場合の委託先職員と現場職員との連携方法、業務内容に係る知識の伝達、一定のレベルを持った受託業者の有無等の検討、検証が必要であると考えられ、今後もこれらの課題を踏まえ、検討を重ねていきたい。

葬斎場の効率的な活用を

問 葬斎場を使用した葬儀だと大規模すぎて、住宅で行うには駐車場等の問題がある。小規模な葬儀に対応できるように葬斎場を改修できないか再度伺う。

答 現葬斎場の畳間でも小規模な葬儀を行うことは可能であると考えられるが、さらに葬儀会社等と意見交換を行い、現在の施設内でのように小規模葬儀、家族葬への対応で利用者が満足できるのか検討したい。



仲村 兼栄

### 嘉手納野球場の方針は

**問** 野球場完成後に1軍キャンプ地として、12球団に公募する予定は。

**答** 機能拡充を計画する中で公認野球場、スタンド屋根設置、サブグラウンド等今後の推移を見ながら検討したい。

**問** 新球場は野球以外の多目的使用は可能か。

**答** 今後具体化される計画において検討する。

**問** 野球場駐車場にサブグラウンドも含めた多目的グラウンド設置の予定は。

**答** 引き続き検討を行う。

**問** 野球場駐車場から陸上競技場へのアクセス歩道橋設置の予定は。

**答** 今後の基本設計で検討する。

**問** 正面広場の面積は大丈夫か。

**答** 野球場の顔と言うべき正面広場となるので美観や動線確保等

引き続き検討する。

**問** 人工芝と天然芝のメリット・デメリットは。

**答** 人工芝のメリットは雨天後も使用可能なこと、コスト軽減、粉じん飛散防止。デメリットは夏場の暑さ対策。

天然芝のメリットは粉じん飛散防止、夏場の暑さ対策。デメリットは維持管理コストが高いことと雨天後の使用不可なこと。

**問** 最新鋭のハイブリッド芝も検討する予定は。

**答** 維持管理で天然芝と一形態と思われる。



遊歩道としての吊り橋 (栃木県鬼怒川)

### 屋良城跡公園遊歩道の延長を

**問** 屋良城跡公園遊歩道を久得橋付近まで延長する計画は。

**答** 課題等を検証し、事業化に向け検討したい。

**問** 一括交付金活用は可能か。

**答** 事業化が可能であれば、一括交付金を活用したい。

**問** 観光資源として屋良城跡公園の方向性は。

**答** 自然環境と歴史的資源を活用の事業の推進と合わせて検討したい。

**問** 「道の駅かでな」の観光客の取り組み方法は。

**答** 事業の推進と合わせて、検討したい。

### 小学校の荷物の重さを問う

**問** 登校時における低学年のランドセル等の重量の把握は。

**答** ランドセルの重さは5キロで、1年生平均体重の25%に相当する。

**問** 対策会議の内容は。

**答** 嘉手納町校長会を対策会議に充て、教育委員会の方針を示す。

**問** 新1年生の対策は。

**答** 町校長会で協議をもとに保護

者の理解を得て取り組む。

### 低学年生を対象に

### 防犯ブザー・ベル講習会

**問** 防犯ブザー・防犯ベルの講習会の予定は。

**答** 交通安全教室・PTA行事等で可能と考えている。

**問** 講習会で、ブザーとベルを鳴らす体験の予定は。

**答** 学校と連携したい。

**問** 大声で「助けて」をいう体験の予定は。

**答** 前向きに検討したい。

### 学童保育送迎車の

### 屋良小への乗り入れは

**問** 車両対策は。

**答** 新校舎東側出入口での送迎を計画している。

**問** 学童の先生・生徒の待機場所は。

**答** 普通教室棟地下駐車場と周辺を想定している。

**問** 雨天時の対策は。

**答** 地下駐車場が利用できると思われる。

**問** 中央の校舎から校門までの間に屋根付き廊下設置の予定は。

**答** 設置は考えてない。



宇榮原 京一

### ごみ減量化の取り組みを問う

**問**ごみ減量化に対する本町の取り組み状況は。

**答**ごみ分別の徹底やごみの資源化に取り組んでいる。特に草木のチップ化事業や生ごみ処理機の購入補助事業を継続実施、循環型社会の構築、生活環境の保全及び公衆衛生の向上、町民の快適な生活の確保に努めている。

**問**具体的目標は。

**答**平成31年度は、総排出量4379t、1人当たりのごみ排出量872g。

**問**ごみ減量化に対する町民や企業への周知は。

**答**3Rからリデュース(減らす)リユース(再利用する)リサイクル(資源を再利用する)からリフューズ(断る)を増やした4Rへと取り組みを周知する。

**問**ごみ資源再利用の調査研究は。

**答**毎年ごみ資源の再利用について担当者会議及び事務研究を行っている。またバイオマス事業の視察研修や草木チップ事業の調査研究を行っている。

**問**家庭用電気生ごみ処理機補助金の活用実態は。

**答**年々減少傾向のため、新たに3自治会へ生ごみ処理機を設置しごみの減量化、再資源に向け周知を図っていく。

**問**ごみ袋を読谷村との相互利用で経費節減を。

**答**今後どれぐらいの相互利用が可能か調査研究を図っていく。

**問**今後の具体的な施策は。

**答**ごみの減量化への周知、4Rの積極的な推進、事業系ごみ占用のパンフレットを作成しごみの減量化を図る。

### 広告収入による

### 自主財源の確保を

**問**厳しい自治体運営の中において広告収入は効果的な収入源の一つとなっている。本町においても公共施設を活用した広告収入で財源の確保に努めるべきだと考え、いくつか伺いたい。企業広告等の活用実績は。

**答**広告入り窓口封筒を事業者より寄贈されている。また祭りやイベントなどでの企業協賛や新聞での企業広告等の実績はある。

**問**リニューアル計画の嘉手納野球場やスポーツドーム等にネーミングライツの考えは。

**答**先行する自治体の情報等について調査、研究を進める。



沖繩市のネーミングライツを活用した  
コザしんきんスタジアムと  
コザしんきんドーム

**問**町のホームページ、広報かなへの企業広告は。

**答**平成31年度中にホームページ、広報かなへの企業掲載への導入に向け取り組んでいる。

**問**各種イベントや野国総管まつり等への企業広告は。

**答**新聞協賛広告を実施している。  
**問**大型ビジョンを活用しての企業広告は。

**答**観光に資する企業広告目的なら掲載を検討できる。

**問**ごみ袋への企業広告は。

**答**他市町村の事例等も含め調査研究する。

### シニア世代への

### 生きがい対策を

**問**リタイアしたシニア世代を地域にどのように取り込むか、社会全体がこのテーマに大きな関心を持っている。本町でもいかに生きがいを持ったくらしを整えることが出来るか、いくつか伺いたい。シルバー人材センター等を進める考えは。

**答**センター設立の考えはない。

**問**町は会社等の定年者について、定年後の生きがいづくり支援をどのように考えるか。

**答**スポーツ交流、サークル活動、ボランティア活動、講演会、情報交換会や研修等の事業を行う。

**問**ボランティア活動等を希望されるシニア世代への紹介窓口は。

**答**社会福祉協議会でボランティア登録を受け付けている。

**問**町職員の再任用制度の適用実績は。

**答**平成27年度1名、平成29年度2名、平成30年度1名。



均 山 當

## 中学校テニスコートの 早期整備を

**問** 中学校施設内にはテニスコートが整備されていないことから、校長から町教育委員会に対し「中学校テニスコート整備」要望書が提出されたと聞くが、その整備に向けた町の方針を伺いたい。

**答** 去年4月19日、中学校から①コート2面配置。②南北向きに配置。③周辺住民に影響を与えないことを施設環境とする要望書が提出されている。



嘉中テニスコートの配置を予定している、嘉小旧体育館跡地

この要望等を踏まえ配置場所に「嘉手納小学校の旧体育館跡地」を考慮しており、嘉小校長からも①中学校専用施設とはせずに併用施設とする。②多目的用途に使用できる施設に。③小学校の授業時間帯は、小学校の体育での使用を優先。という3点の条件付きで承諾を得ている。

**問** 整備に向けてのタイムスケジュールは。

**答** 嘉小では、平成31年度に危険なブロック塀の工事を予定していることから、テニスコートの整備に向けては平成31年度に嘉手納小学校施設等配置計画の見直しを行い、32年度に施設実施設計、33年度に整備計画と考えている。

## 福祉・教育部署における 専門職の人材確保について

**問** 本町でも3月1日現在、職員・特別職の職員(嘱託)・臨時職員を合わせた全職員数366人のうち嘱託員は121人と3割強を占めている。

町民ニーズに応えきめ細かなサービスを提供するためにも専門的資格及び知識を有する専門職の役割・重要性は増してい

る。

とりわけ、近年、福祉・教育部署において様々な職種の専門職の配置が求められているが、当初予算に計上していても人材確保できない事が見受けられることから、専門職の人材確保に向けた町の方針及び具体的取り組みを問う。

**答** 専門職の配置が必要となる部署が多数となっており、とりわけ、保育・教育部署においては、人材確保に苦慮している。

特に、全体的に保育士不足が叫ばれており、その対応は本町においても喫緊の課題となっている。

その対策として、保育士の負担軽減のため保育支援者や休憩保育士の配置等により、働きやすい環境整備を行う。給与改善については、周辺市町村の状況等を勘案した上で年度ごとに調整しており、来年度も改正を予定している。

教育部署においては、今年度、教育サポートターや幼稚園の支援員の臨時職員での対応に不足が生じた。臨時職員については、来年度、給与の改定が行われることを踏まえ、ハロー

ワーク等も活用し、人材確保につなげたい。

また、今年度途中から不在となった子ども支援コーディネーター及び臨床心理士については、ハローワークの活用とともに、県臨床心理士会への求人募集申請等も行っていくきたい。

## 町民の家リニューアル計画の 早期策定を

**問** 早急に町民の家リニューアル計画策定に着手しなければ、老朽化が著しくなり利活用に影響を与え兼ねない。

**答** 町民の家のリニューアルについては、嘉手納運動公園の全体的な計画、進捗を視野に、町内公園整備の優先順位も考慮し、公園整備事業担当課と連携を図りながら検討していきたい。

**問** 町長の見解を伺いたい。

**答** 専門家に委託をして、役場内・住民の皆さんの声も聞きながら、どの様な使い方ができるのか、どういう対策が可能なのか、専門的に進めていく必要があると感じているところである。



田崎 博美

### 比謝川を蘇生させる 作戦を問う

**問** 4月の夜は比謝川の自然兩岸の樹木にナイアガラのイルミネーション、川面には幻想的なイルミネーションが映える。闇夜にはホタルの恋の乱舞飛行、アニマルのイルミネーション・フアッションショー、昼間は天空花回廊の競演、オオゴマダラのスローモーション雄飛、籠の中から自然界へのリリース体験、企業、行政、町民、老若男女が連携して創り上げる、ビッグイベントにする考えはないか伺う。

**答** 本町における観光・交流の重要な拠点として位置づけられており、イベントは比謝川の魅力を広く発信する有効な手段であると考えている。しかし、自然豊かな上流では、屋良城跡公園の老朽化や遊歩道の崖地対策工事などにより、現在イベントは

行われていない。遊歩道の崖地対策工事や屋良城跡公園のリニューアル後、イベントの開催も可能となるので、ご提案のナイトレインボー作戦なども参考にしながら検討する。



比謝川へナイトレインボーイルミネーションを

### 生ごみを堆肥化する ゴールドプランについて

**問** 美化センター焼却場に搬入される1か月分の生ごみの量は何tか。

**答** 環境美化センターからのデータによると、平成29年度において、美化センター焼却場に搬入される1年間の可燃ごみの量は1万4482t。1か月分では1260t。うち嘉手納町の分は286t。燃やせるごみを組

織分析すると、生ごみは厨芥類に分類される。その中で平成29年度の組織分析において厨芥類が平均8.6%になるので、1か月分の生ごみ、厨芥量全体で103t、うち嘉手納町分は24.6tになる。

**問** 生ごみを燃やさず堆肥化する考えはないか。また、メリット・デメリットについて伺う。

**答** 堆肥化することについては、成分的により効果が出ることも専門家より確認ができています。

しかし、堆肥化事業には問題としてどのように生ごみを回収するのか。生ごみ堆肥化事業実施の目的が、ごみ焼却場施設の搬出量削減、地球資源の有効活用と循環型システムの構築、地元農地や花壇への還元とすばらしいものがある。事業で成功しているところは、生ごみの回収をステーション方式で回収を行っている。

事業を行うメリットは、ごみの減量化、ごみ処理施設の延命化、温暖化防止等。懸案事項としては費用対効果、住民の意識向上が不可欠であるため、ごみ分別に向けた住民への説明、周知、啓発啓蒙を行う等調査研究

をしていく。

**問** 生ごみを分別収集し堆肥化するにあたり、コンポストセンターを設置する考えはないか。

**答** コンポストセンター堆肥化施設の設置に関しては、事業が明確になれば必要になると考えている。しかし、設置場所については、リサイクルセンターが適した場所になると思われるが、現在美化センターの移転候補地になつていこともあり調整しながら検討していく。

**問** 農林水産省等から補助金を受けて処理施設を造る考えはないか。

**答** 堆肥化に向けた処理施設と生ごみの確保については、各種リサイクル事業に関し、ノウハウを持った人材、事務所等への積極的な情報収集を行う必要があると感じている。また、事業系の生ごみを使用し堆肥化することも含め検討する必要がある。

さまざまな課題等はあるが、最終的には、資源の有効活用と循環型システムの構築、ごみの減量化に向け、取り組む必要がある。今後、調査等を進めていきたいと考えている。



德里直樹

## 広域行政への取り組みは

**問** 国・県から市町村への権限移譲の推進に伴い、一つの市町村では適切に処理していくことが困難な事務への対応に複数の市町村で取り組むことで、より効率的で質の高い住民サービスの維持・向上に広域行政の活用が求められているが、本町の現状と方針を伺う。改正に基づく連携制度の概要は。

**答** 地域の実情に応じて活用ができ、連携協約とその他の規約を一体的に協議し、運用上の工夫を行うことが可能。

**問** 本町の広域行政の現状及び成果、課題は。

**答** 広域的な行政課題を近隣市町村にて、実施に向けて調査研究を行う必要がある。

**問** 本町の今後の広域行政への可能性及び方針は。

**答** 事務事業の効率化や効果的な行政サービスを行うことができ、ものについては広域行政を推進していきたい。

**問** 総合行政システムクラウドの概要・展望は。

**答** 住民情報をセキュリティの高い民間施設へ集積管理を行う。平成34年度には、嘉手納町と北谷町でクラウド上のハードウェアの共同化を行う予定。

**問** 中部広域市町村圏事務組合について、共同処理する事務の概要は。

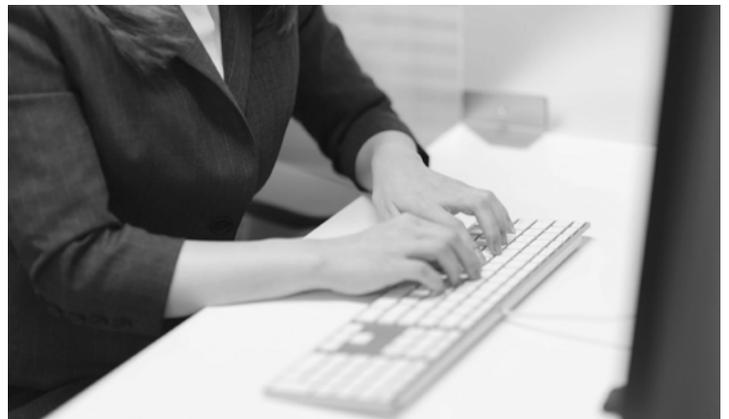
**答** 中部広域計画の策定、事業の実施、ふるさと市町村圏基金を活用した事業を行っている。

**問** 施策の成果及び課題は。

**答** 高度化する行政需要へ職員の能力向上や事務の効率化、財源の確保、開かれた組織づくりが課題となっている。

**問** 今後の展望は。

**答** 各市町村の事務負担軽減に努め、活性化を目指したい。



働き方改革の推進を図れ

## 「働き方改革」推進に 本町の取り組みは

**問** 2014年、地方公務員に人事評価制度が導入され2020年には会計年度任用職員制度が新設されるなど、国を挙げて「働き方改革」が推進されているが、本町の対応と方針について伺う。人事評価制度の概要及び現状と課題は。

**答** 職員が発揮した能力及び業績を把握した上で行われる勤務成績の評価と定義されている。今

後も、評価スキルの向上を図るため、必要な研修等を継続していく予定。

**問** 会計年度任用職員制度の概要及び導入スケジュールは。

**答** 一般事務の補助として勤務している臨時職員や、専門職の保育士、看護師、図書館司書、学習支援員等の職全てが会計年度任用職員に含まれる。

**問** 各課所轄の臨時・非常勤職員の現状と課題及び制度導入による方針は。

**答** 人件費の上昇と、人数確保とのバランスを考慮し任用方法の検討を進めていく。

**問** NPO嘉手納町母子寡婦会の設立経緯、制度導入への方針は。

**答** 母子会と相談しながら検討していきたい。

**問** 公共性を担保する公共団体として民間への「働き方改革」の支援に対する方針は。

**答** 事業の周知、商工会や国、県と連携し、どのような施策ができるかを検討する。

**問** 「働き方改革」推進に伴い職場環境、職員研修等、組織強化への方針は。

**答** 支援事業を通して、職場環境の改善に取り組んでいきたい。

### 市町村行財政・政治の 現況を研修



平成31年2月15日に南風原町立中央公民館にて沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会が行われた。第一部は沖縄県企画部市町村課長の松永亨講師を迎え「市町村行財政の状況」について、第二部は政治ジャーナリストの泉宏講師の「参院選、日口、沖縄、アベノミクス、正念場続く3選安倍政権」をテーマに学んだ。

今後、この研修を通して学んだことを議会運営に活かし、町民のニーズにこたえられるように頑張りたい。

### 委員会の役割と正副委員長の 資質向上を学ぶ



令和元年5月8日常任委員長・副委員長実務研修会が、那覇市自治会館で、25町村から188名が参加し行われた。講師の石垣安秀事務局長より、委員会制度、所管事務調査、常任委員長・副委員長としての心がけたい事項について、実際の参考事例を基に講話を受けた。特に常任委員会設置の目的と意義を再確認し、我が嘉手納町の活性化にさらに寄与する調査・審査を実行し、委員長・副委員長としての役割発揮と、責任の重大さを痛感した研修会となった。

### 題字紹介

# 議会だより



嘉手納小学校6年 白坂エミ

「議会だより」を書いて、むずかしかったところは「会」と「よ」です。「会」は左ばらいがボコボコしたりしてバランスが悪く、小さくなってしまうたり、「よ」の部分は、丸を書くのがむずかしかった。題字を書くことができて嬉しいです。これからも習字をめげずに続けていきたいと思います。

### サークル紹介



「タテイングレース  
サークル」ジョゼフィン

毎週水曜日、午後1時30分  
から3時30分まで中央公民館  
研修室2で開催。

タテイングレースは数百年  
の歴史を持つヨーロッパの伝  
統手芸です。会員は12名。現  
在、会員募集中。

お問い合わせ先(代表者)  
TEL 080-3964-8053  
喜友名まで。

サークル紹介コーナーへの掲載を  
ご希望のサークルは、議会広報調  
査特別委員会までご連絡ください。